

平成23年度 分野チェックリスト

分野名	自律・教育分野		分野番号	5
分野担当部	教育委員会事務局	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	22	年度末
1	区学力調査、意識実態調査における児童・生徒の平均正答率	%	68.6	65.5	65.7	70.0	
2	ボランティアに参加したことのある区民の割合	%	23.2	22.7	19.2	30.0	
3	不登校児童・生徒数	人	262	232	249	170	
4	楽しい学校生活であると肯定した児童・生徒の割合	%	84.3	84.1	84.0	86.0	
5	区民一人あたりの文化的な生活時間	時間	平日1時間36分 休日2時間19分	平日1時間37分 休日2時間11分	平日1時間41分 休日1時間59分	平日2時間15分 休日3時間00分	

※指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 1 国語・算数(数学)・英語について実施した「平成22年度杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査」における、児童・生徒の平均正答率は65.7%でした。(正答率は問題の難易度に左右されるため、単純に経年比較をすることはできません。)なお、「平成22年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果で見ると、小・中学校とも東京都の平均値を6ポイントから8ポイント程度上回る結果となっています。

今後とも、指定校による課題別研究、学力向上調査委員会の活動等を充実するとともに、研修の充実や若手教員への支援により、授業力・指導力の向上を図っていきます。また、少人数学習の機会充実や教員加配等により、基礎的・基本的な学力の定着を図り、児童・生徒の学力向上を目指します。
- 2 ボランティアに参加したことのある区民の割合は、2年連続で前年度と比べ減となりました。

「杉並区教育ビジョン推進計画」の最終計画年度となる平成22年度中に、学校支援本部の全校設置が完了しました。また、地域運営学校(コミュニティ・スクール)は、新規に2校指定し、計14校となるなど、地域との協働による学校づくりの基盤整備が着実に進展しました。これらの取組みは、保護者や地域住民にも浸透してきたことから学校運営への地域住民の参画は、順調に促進されていると考えられます。

一方で、「ボランティア活動してみたいと思うがしたことはない」という意欲のある区民の方は、54.6%と依然として多数潜在していることから、今後は、このような取組みの担い手を地域の中で広く発掘していくことで、地域団体の活動をより活発化していく支援を強めていく必要があります。
- 3 平成22年度の不登校児童・生徒数は、前年度より13人減少しました。不登校となったきっかけは、「不安など情緒的混乱」「無気力」「親子関係をめぐる問題」「いじめを除く友人関係をめぐる問題」など多岐にわたっています。また、指導によって登校できるようになった人数の割合である不登校解消率は26.5%でした(平成21年度は25%)。

平成22年度は、不登校対策担当として心理士3名、教育SAT(いじめや不登校などの緊急課題を解決する専門チーム)にスクールソーシャルワーカー4名を配置するとともに、スクールカウンセラーによる相談、ふれあいフレンドの派遣、適応指導教室の運営により対応してきました。今後も、不登校を未然に防ぐための取組や不登校状態を解消するための取組をより一層強化していきます。
- 4 「杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査」における小学校の「学校の生活が楽しい」、中学校の「学校の生活が充実している」との問いに、肯定的な回答をした児童・生徒数の割合を指標値としており、平成22年度は、21年度と同程度の84.0%でした。

しかし、いじめや仲間はずれに対する何らかの不安を抱く児童・生徒が少なからずいる可能性はあります。平成22年度の杉並区立学校1校あたりのいじめ認知件数は、平成21年度と比べて増加しており、小学校で4.09件(21年度は1.26件)、中学校では4.34件(21年度は3.91件)となっています。

いじめは重要課題であり、引き続き、教育SAT(いじめや不登校などの緊急課題を解決する専門チーム)による学校への支援、教育相談の機能の強化、創意工夫のある教育指導などにより、児童・生徒の不安意識を解消し、「学校が楽しい、充実している」と感じる児童・生徒が増えるよう取り組んでいきます。
- 5 文化的な生活時間は、平成20年度からの比較では、平日の時間が微増傾向にありますが、長引く厳しい経済情勢と労働環境の中、趣味や娯楽活動、スポーツ活動などを行うための時間のゆとりは、区民の日々の暮らしの中で大きな変化がないと考えられます。

一方で、区の文化・芸術活動の基盤整備は、文化・芸術活動の重要な拠点として、杉並公会堂の外、舞台芸術を中心とした質の高い文化・芸術に親しめる施設として「座・高円寺(杉並芸術会館)」の存在が定着してきました。なかでも、阿波踊りの専用ホールを有するなど、地域に根付いた施設として観客動員数も目標を大幅に上回る数となっています。杉並公会堂の事業、日本フィル友好提携事業とともに、文化活動の発表や鑑賞事業などを通して、優れた文化芸術に触れる機会が増えていると考えられます。

今後とも、各文化施設がそれぞれの特色を生かした形で、地域、区民に広く活用され、魅力的な施設となるように、より一層のサービス向上に努めるとともに、区民一人ひとりの文化的な生活時間の向上に資するよう、各施設が連携する取り組みなども検討していきます。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	区学力調査、意識実態調査における児童・生徒の平均正答率	【22年度】 <学力調査(読み解く力に関する調査)平均正答率> 調査対象(小学校5年生、中学校2年生) 杉並区 東京都 小学校 72.2 小学校 65.2 中学校 55.1 中学校 49.3
	平成22年度杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査における児童・生徒の平均正答率(小学校3年生以上の児童・生徒に実施) 【関連データ】 (都教育庁:平成22年度東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査 より)	
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	【21年度】 杉並区 東京都(15年度) 19.2% 28.5%
	区民アンケートで、『あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか』に「現在活動している」「以前活動をしていたが現在はしていない」と回答した人の割合 【関連データ】 (杉並区区民意向調査より) (都教育庁:東京の教育に関する都民意識調査 より)	
3	不登校児童・生徒数	不登校児童・生徒(年度に30日以上欠席)の出現率 【22年度】 杉並区 東京都 小学校 0.43% 小学校 0.34% 中学校 2.77% 中学校 3.07%
	年度に30日以上欠席(病気等の欠席を除く)した児童生徒の人数 【関連データ】 (都教育庁:平成22年度における児童・生徒の問題行動等の実態について より)	
4	楽しい学校生活であると肯定した児童・生徒の割合	1校あたりのいじめ認知件数 (いじめについては定義の解釈が多様であり、また認知も主観による部分が大きいいため、単純に他自治体との比較は困難です) 【22年度】 杉並区 東京都 小学校 4.09件 小学校 1.65件 中学校 4.34件 中学校 3.35件
	平成22年度杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査において、小学校の「学校の生活が楽しい」、中学校の「学校の生活が充実している」との問いに、肯定的な回答をした児童・生徒数の割合を%で表した。 【関連データ】 (都教育庁:平成22年度における児童・生徒の問題行動等の実態について より)	
5	区民一人あたりの文化的生活時間	
	区民アンケートで、『あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか』に、「趣味・娯楽活動」「教養・学習活動」「スポーツ活動」と回答した人の1日にかかるだいたいの時間の平均値(平日・休日別)。 (杉並区区民意向調査 より)	
特記事項		